

現場からこんにちは！

春日井市 某青果卸商社 様



今回ご紹介する現場は、野菜を全国に配送する大手商社様の社屋内に施工した屋内庭園です。

この現場の施工のポイントとして、屋内という日光や雨の当たらず、土を多く入れる事の出来ない条件下でも植栽を元気に育てる為に、簡単に出し入れのできるプランター植えの植栽を配置し、地植えの植栽に直接水を与えても雨漏りしない様、床面には防水シートが隙間なく張り巡らされています。

屋内という植物にとって厳しい条件下でも長く美しく保って頂く為に小さな屋内庭園にも多くのアイデアが盛り込まれています。

→高原野菜を多く取り扱う商社様という事で、背景に国産杉の角材を山の稜線になぞらえて配置し、立山連峰をイメージ。山岳の荒々しい岩肌を特注で製作した六方石の水鉢と、御嶽山のヒワダ石で表現し、その鉢から流れる水は木曾川源流を表現しました。



→流木をオブジェとして使い、浜に打ち上げられた様子を再現。立山連邦から川を伝って流れ出た木が、大海原を渡り遠く異国の浜に辿りつく様子を、安全に遠くまで商品を運ぶ物流会社使命と重ね合わせロビーに再現しています。何気ないデザインの中にも何かしらの意味を持たせる、お庭造りをする上では結構重要な事なのかもしれません。



←ロビーの螺旋階段を取り囲むように造られた屋内庭園。写真では分かりづらいですが、階段の前には石畳で通路が造られ、その周りに海をイメージした砂利が敷き詰められています。

殺風景だった会社のロビーが自然あふれるお庭に大変身。この庭造りの手法はマンションのベランダや雨の降り込まない場所に最適な方法だと言えるでしょう。

